

闇に燈る聲

泉鏡花「歌行燈」の世界

やみ

とも

こえ

いずみきょうか

うたあんどん

せかい

ごあいさつ

平成12年12月12日泉鏡花の「歌行燈」の世界を「幻のお三重」と題して第3回「虹の会」で演奏した。

芸道の厳しさ。因果。純愛。を唄いたかったが未消化に終わった。いつか再びと念じながら早くも20年の月日が過ぎてしまった。闇からの声がいつか昇華し我が身の声となりうるだろうかと思ひながら・・・

このたび、頼もしいスタッフと共に想いの糸が結ばれ再び鏡花の世界を舞台化出来る幸せを三筋の糸に託し「闇に燈る聲」に願したい。

西松布咏

芸と霊

芸は伝授してゆく者の魂が亡霊となって演者と重なる。泉鏡花「歌行燈」の幻想は死者に導かれた伝統芸が生者へと伝わり、男女の恋とも重なり結ばれてゆく。

言葉で確認しあう恋ではなく、踊りの振り写しという肉体的憑依による秘めたる恋である。恩地喜多八の身体がお三重に芸として写し込まれる。お三重に生霊としての能が憑いたのである。能を舞う女性のしなやかでありつつも凛々しい身体に。

三人のお三重は、西松布咏、山根基世、服部真湖。尺八の善養寺恵介は、空気であり、風であり、景色となる。能の生霊として、能役者の清水寛二。

プログラム 公演時間 100分

第一部 小唄四曲

第二部 芸と霊

第三部 幻のお三重

原作 泉鏡花

演出構成 飯名尚人

作詞 田中優子「幻のお三重」

作曲 西松布咏「幻のお三重」

「歌行燈」について

「歌行燈」は泉鏡花が1910年(明治43年)1月に発表した小説。

三重県桑名を舞台に能のシテ方宗家の甥である喜多八と、芸の出来ない芸者お三重が、能の『海人』(観世では『海土』)の仕舞「玉之段」を通じて繋がっていく。深夜の松林で喜多八が舞を伝授する風景と、「玉之段」を舞うお三重の姿が泉鏡花の言葉によって見事に描写される。

1943年に成瀬巳喜男監督、花柳章太郎、山田五十鈴で映画化。1960年には衣笠貞之助監督、市川雷蔵、山本富士子で再度映画化。



服部真湖 舞踊

1978年、カネボウ化粧品キャンペーンガールでデビュー。その後も「はなまるマーケット」などテレビを含め多数のメディアに出演。独学で学んだ英語力を生かし「夜のヒットスタジオ」「世界ふしぎ発見」では、世界各地からレポートやインタビューで出演し、元祖バイリンガルタレントとして注目を集める。花柳界育ちの母に育てられた影響で6歳から日本舞踊を始め、三味線 小唄 長唄等の和芸にふれた経験や海外での語学力を生かし現在も日本の伝統文化の継承 普及 国際文化交流にも力を注いでいる。



清水寛二 能

能役者。早稲田大学在学中に山本順之の指導を受け、鉄仙会(てっせんかい)に入門。故観世寿夫、故八世観世鍬之丞、九世観世鍬之丞に師事。鉄仙会や西村高夫と共宰の「響の会」などで古典能の上演を続ける一方、新作品『沖繩残月記』『長崎の聖母』『望根歌』『ヤコブの井戸』などの演出、シテをつとめる。現代劇や伝統芸能との共同舞台にも取り組んでいる。2018年よりピアノの高橋アキラと青山実験工房を催している。東京藝術大学非常勤講師。座・高円寺演劇創造アカデミー講師。



西松布咏 唄と三味線

「美紗の会」「己紗の聲」主宰。6歳より長唄・三味線の手ほどきを受け小唄・端唄・新内・富本・作詞作曲の修行をする。西松文一師に見出され地唄を習得し「布咏」の名で地唄舞の地方の傍ら現代に古典邦楽が普及するよう異ジャンルの音楽・詩・美術との融合に挑み新たな可能性を探る「ニュアンスの会」「虹の会」を国内外で展開する。現在は古典曲を継承すべく後

進の育成に努めながら江戸中期の古曲から自作の現代曲まで「三味線と聲」に関わる演奏活動を模索している。

公式website <http://www.misanokai.com/>



山根基世 朗読

1971年NHKに入局。多数の番組、ニュース、ナレーションを担当。2005年、女性として初のアナウンス室長。2007年、NHK退職後は、朗読を手掛かりとして「子どものことば」を育てることを目的に、地域作りと言葉教育を組み合わせた独自の活動を続けている。

ラジオ、ナレーションの他、今年第7期となる朗読指導者養成講座を開講、2018年からは「声の力を学ぶ連続講座」を3年間主宰した。



善養寺恵介 尺八

東京藝術大学邦楽科卒業、同大学院修士課程修了。在学中は山口五郎師(人間国宝)に師事。2000年、尺八教則本「はじめの尺八」(音楽之友社刊)を執筆。2002年、日本伝統文化振興財団賞受賞。2017年のリサイタルでは文化庁芸術祭大賞を受賞。2018年、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2020

年、紫綬褒章を受章。古典を中心とした演奏活動のほか、関東各地にて尺八教授活動を行っている。

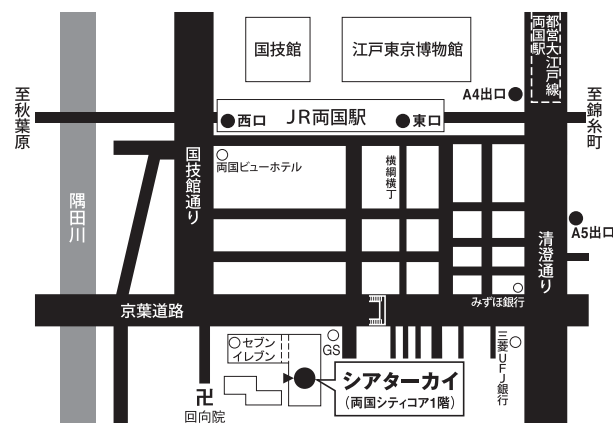
公式web site <http://zenyoji.jp/>

○日時 2023年12月4日(月)
開場18:30／開演19:00

○料金 7,000円 (前売・当日とも)

○ チケット取り扱い
前売開始 9月1日(金) A.M.10:00
【Confetti(カンフェティ)】
TEL 0120-240-540 (平日10:00～18:00)
<https://www.confetti-web.com/>

○ 問い合わせ先
「闇に燈る聲」制作部
Mail gei.rei2023@gmail.com
TEL 070-3822-1256 (公演当日のみ)



劇場 東京・両国 シアターXカイ

〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア1階
TEL:03-5624-1181
<http://www.theaterx.jp/index.php>

JR 総武線両国駅西口下車、左へ徒歩約 3 分
都営地下鉄大江戸線両国駅 A4・A5 出口徒歩約 8 分



<https://dance-media.com/uta-andon/>

舞台監督 | 呂師 (砂組)
制作 | 飯塚なな子

照明 | 溝端俊夫 宇野敦子
提携 | シアターXカイ

音響 | 國府田典明 (國府田商店)
主催 | 美紗の会

演出助手 | 黒田瑞仁